



創刊号

2006年3月1日発行
6市町村の合併で誕生した新「渋川市」特集のほか、閉市町村式も掲載。広報の発行回数を全地区で統一し、1日と15日の月2回としました。



67号

2008年12月1日発行
創刊号以来初めての全面デザイン変更。より見やすく、親しまれる紙面にするため、写真の扱いを大きくし、1行当たりの文字数を15字から14字にしました。



147号

2012年4月1日発行
約3年ぶりに紙面を刷新。文字数を減らし、段組を現行と同じ5段に増やしました。15日号は、お知らせ版の位置づけで、全ページ単色刷りとしました。



291号

2018年4月1日発行
これ以降、1日号は、全ページカラーで発行。『つながる・伝わる・まちの情報紙』として、現行紙面につながるデザインに刷新しました。

「広報しぶかわ」紙面の移り変わり

53号

2008年5月1日発行
表紙のデザインを変更し、表紙写真下の説明を詳しくしました。この頃は、1日号の表・背表紙のみカラーで、それ以外のページと15日号は2色刷りでした。



臨時号

2011年3月25日発行
3月11日に発生した東日本大震災に関する市の支援活動のほか、計画停電や救援物資の受け付け等、市民生活への影響などを知らせる号外を発行しました。



241号

2016年3月1日発行
新市誕生10周年を特集。10周年記念式典の様子や新市の歩みを写真と年表で紹介するなど、記念号として、全ページをカラーで発行しました。



316号 2019年4月15日発行

これ以降、15日号も全ページカラーで発行することにしました。



特集 表紙で振り返る広報しぶかわの歩み

「広報しぶかわ」は、平成18年2月の市町村合併後に発行された創刊号(平成18年3月1日号)以降、今号で400号の発行を迎えました。

これまで広報紙では、市民の皆さんに市の取り組みや市内の出来事など、さまざまな情報をお届けしてきました。

また、直近の紙面は、新型コロナウイルス対策やワクチン接種など、市民生活に欠かせない情報を中心に掲載し、併せて、市民の皆さんに親しまれる広報づくりを心がけ編集しています。

今回は、読者の皆さんへの感謝の気持ちを込めて「広報しぶかわ」の歴史を振り返ります。

詳しくは、**困秘書室**(☎2182)へ。

人物の自然な描写を参考にしたいです



渋川女子高校2年 坂入 陽香さん

楽しそうにお祭りの準備をしている様子や友達と一緒に、好きな絵を描いてもらって嬉しいという感情が伝わってくる表紙だと感じました。子どもたちの笑顔が生き生きとした一瞬を切り取った、自然な描写がとても印象に残りました。



299号

2018年8月1日発行

「へそ祭り」での一場面を写した表紙は、市町村広報コンクールで第1席に入選。祭りの様子は、写真ギャラリーとして、丸々1ページで紹介。

選考は悩みましたが貴重な経験ができました



渋川女子高校2年 島田 瑞穂さん

自由でかわいらしい園児の様子が伝わる表紙だと思います。柔らかみのある色合いが気に入りました。また、上からのアングルで撮影したことで、人物の小ささに対して、桜の雄大さが際立っていると印象に残りました。



101号

2010年5月1日発行

満開の桜と笑顔いっぱいの第一保育所が表紙。現在も続く、新生児のための「ブックスタート事業」が開始された様子を紙面で紹介しました。



390号

2022年5月15日発行

表紙は、八木原諏訪神社の太々神楽100周年記念奉納。紙面は、地域防災に不可欠な消防団を特集し、活動への理解と協力を呼びかけました。

市の伝統や出来事が表紙から伝わってきました



渋川工業高校1年 粕川 知希さん

表紙からは、そのときの市の出来事が分かります。中でも、神楽奉納100周年記念の一場面を写した表紙からは、歴史や伝統が受け継がれている様子だけでなく、動きのある写真が、その場の雰囲気を感じ取りやすく伝えていると思います。



323号

2019年8月1日発行

市の特産品「創作こけし」を特集。表紙だけでなく、読者プレゼントや編集後記までこけしに関連する内容で、こけしづくしの広報となりました。

いろいろな表紙があり見ていて楽しかったです



渋川工業高校1年 高井 白月さん

さまざまな表紙があり、楽しみながら選定を進める中で、「仕事をすることの格好良さ」を感じさせる表紙を選びました。「創作こけし」制作作業の様子を写した表紙には、伝統技術を継承する職人の格好良さが写し出されていました。



「広報しぶかわ」の表紙には、その時々市内での旬な出来事を掲載してきました。被写体の表情や形状、光や色から、その場の雰囲気を感じてもらえるような写真を選んでいます。

広報しぶかわ400号の発行を記念して、8月17日に市内高校の写真部による「広報しぶかわの魅力な表紙選考会」を実施しました。感じ方は人それぞれですが、読者にその場の雰囲気などが伝わる魅力的な表紙を、高校生の感覚で過去396号の中から選ぶ企画です。選考会の様子や選考理由、該当する広報の紙面などについて紹介します。

※これまでに発行した広報は、市立図書館で閲覧できます(貸出不可)。また、市ホームページでも一部を公開しています(ページID=7776)



147号

2012年4月1日発行

「石段ひなまつり」を表紙に、新年度予算など、4月1日号らしい紙面。裏表紙の公募写真掲載コーナーでは、白井宿の八重桜を紹介しました。

楽しみながら市の歩みを振り返れました



渋川高校2年 根井 飛龍さん

石段ひなまつりが市特有の行事であることと、子どもたちの温かくて、ほほ笑ましい姿が気に入りました。季節を感じられる写真でもあり、子どもたちの健やかな笑顔を見た読者も、温かな気持ちになれるのではないのでしょうか。



109号

2010年9月1日発行

表紙は、夏の風物詩「渋川山車まつり」。紙面では、「循環型社会」に向けた市の取り組みを紹介。リデュース・リユース・リサイクルを呼びかけました。

広報によって市内に笑顔が広がってほしいです



渋川高校1年 柴崎 奏斗さん

参加者の祭りへの情熱が伝わってくるような表紙だと思います。笑顔で楽しく祭りに参加する姿が気に入りました。今はコロナで祭りが中止になっていますが、また渋川で楽しく明るい祭りを開催し、元気な渋川市が戻ってきて欲しいです。